

障害があっても暮らしやすい北海道づくりを考える フォーラム開催要綱

～ 障害児・者への差別や偏見を解消し、だれもが安心して暮らせる北海道づくりをめざして ～

1. 目的

北海道は、「北海道障がい福祉計画」に基づき、「希望するすべての障害者が地域でくらすことができる社会づくり」を目指している。

そうした北海道を実現するためには、障害児・者が必要とする地域における相談支援体制やサービス提供基盤の整備を推進することや障害児・者が受けてきた差別や不利益の解消を図り、その権利を擁護するとともに、障害児・者の「暮らしづらさ」を解消するための施策が必要である。

今、北海道では、障害児・者への差別や不利益を解消し、暮らしやすい北海道づくりをめざすための「条例」の制定に向けた議論がはじめられようとしている。

今回のフォーラムは、こうした状況から北海道における障害児・者の暮らしと施策の現状と課題を検証し、議会、行政そして道民が、ともにこの条例づくりに参画し、もって障害児・者が暮らしやすい北海道づくりに寄与することを目的として開催する。

* 情報保障として、手話通訳・要約筆記の配置と点字・データ資料を用意しています。

- | | |
|--------|---|
| 2 主 催 | DPI 北海道ブロック会議 |
| 3 協 力 | 北海道移送・移動サービス連絡会（STネット北海道） |
| 4 後 援 | 北海道、札幌市、（社福）北海道社会福祉協議会、（社福）札幌市社会福祉協議会、（社団）北海道身体障害者福祉協会、（社団）札幌市身体障害者福祉協会、（社団）北海道ろうあ連盟、（社団）札幌聴力障害者協会、（社団）北海道手をつなぐ育成会、（社団）札幌市手をつなぐ育成会、北海道精神障害者回復者クラブ連合会、（社団）北海道精神障害者家族連合会、（特非）札幌市精神障害者家族連合会、北海道重症心身障害児（者）を守る会、障害者の生活と権利を守る北海道連絡協議会、（財）北海道肢体不自由児・者福祉連合協会、（財）北海道難病連、（特非）コロポックルさっぽろ、（社団）北海道社会福祉士会、北海道新聞社、朝日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、日本経済新聞社札幌支社、福祉新聞社、日本放送協会札幌放送局（NHK）、北海道放送（HBC）、札幌テレビ放送（STV）、北海道テレビ放送（HTB）、北海道文化放送（UHB）、テレビ北海道（TVh）
順不同 |
| 5 開催日時 | 2008年6月28日（土）13:00～17:00 |
| 6 会 場 | 札幌市身体障害者福祉センター 3F 大会議室
（西区二十四軒2条6丁目） |

7 定 員 100人(定員になり次第、締め切ります。)

8 参加費 500円(資料代として)

9 プログラム

12:30 開 場

13:00 開 会 進行役：DPI 北海道ブロック会議事務局長 我 妻 武

開会挨拶&報告「障害者権利条約に関する現状と課題について」

～「障害」と「障害者」及び「差別」の定義を中心として～

DPI 日本会議副議長&DPI 北海道ブロック会議議長 西 村 正 樹

13:15 記念講演「北海道における障害児・者の暮らしの現状から条例の意義を考える」
北星学園大学福祉学部教授 田 中 耕一郎 氏

13:45 休憩

14:00 シンポジウム「障害児・者が暮らしやすい北海道づくりを進めるために」

シンポジスト 北海道保健福祉部福祉局

障害者保健福祉課長 中 野 孝 浩 氏

北海道議会議員(自民党・道民会議) 清 水 誠 一 氏

北海道議会議員(民主党・道民連合) 林 大 記 氏

北海道議会議員(公明党) 佐 藤 英 道 氏

北海道議会議員(日本共産党) 花 岡 ユリ子 氏

コメンテーター 北星学園大学福祉学部教授 田 中 耕一郎 氏

コーディネーター DPI 北海道ブロック会議議長 西 村 正 樹

17:00 閉 会

10 問い合わせ先

DPI (障害者インターナショナル) 北海道ブロック会議

住 所： 〒062-0008 札幌市豊平区美園8条1丁目3-23 コーポリボンハウス

TEL:(011)842-9337 FAX :(011)842-9330

e-mail : info_hokkaido@dpi-japan.org URL : <http://www.dpi-japan.org/hokkaido/>